

《 会員からの各市町紹介 》



■松江市長 松浦正敬

皆様、こんにちは。松江市長の松浦でございます。私どもの地域は、中海、宍道湖という大きな湖が2つございますけれども、境港市、安来市、出雲市、米子市そして松江市でぐるりと取り囲むそういう位置関係にあります。

この地域での人口は約65万人でございます。日本海側でみますと、新潟と金沢に次いで、大きいところでございますので、私達はその人口集積を活用して、この地域の振興を共同して図っていきたいと思っております。

今、地方創生ということが言われておりますので、私どもはこの地域が人口のダム効果となるように、これから頑張っていきたいと思っております。

この地域では、産業、工業、農業と多様なものが調和しているわけでございますけれども、この地域のインフラといたしまして、境港は、一番我々が期待をするところでございます。

もう一つ、山陽方面からの高速道路が一昨年に通道をいたしました。ほぼ無料でこちらに来られますので、山陽方面からの色々な物が、ここ境港を通して外へ出ていくという状況がございます。

そして、観光面では、今、山陰DMOが鳥取と島根でできておりますけれども、それにちょうど歩調を合わせるように、この圏域でもDMOを先般、設立したところでございます。

今、沢山の外国人が日本に来られております、その流れがだんだん西のほうへ拡大してきているということで、広島には沢山の外国人旅行客が来ているわけです。その旅行客をいかに北に来てもらうかということが、私たちの今一番大きな課題であります。そのために山陰DMOとも連携をしながら、この地域の観光客の増加を図っていききたいと思っているところでございます。

それから、海外との交流ということは今、やっております、変わったところでは、インドとの経済交流、観光交流というのを今、進めようとしております。

また、境港に来ますDBSというクルーズ船がありますが、そのDBSにおいてウラジオストク、ロシアとのいろんな貿易、交流を今やっているところでございます。

そうした状況の中、せとうちSEAPLANESさんから、中海を使った水陸両用の飛行機を飛ばしたいというお話がございました。今、試験飛行を行っておりますが、来年の4月以降には本格稼働の予定です。現在、こちらには、クルーズ船がたくさん来ておりますけれども、クルーズ船のお客さんに、上空からこの島根半島を見ていただく、あるいはサイクリングをしてもらい色々な場所に行っていただくというような活用をしていきたいと思っております。

もう一つは、現在、島根半島を中心としてジオパークに申請をしております。島根半島には、「出雲国風土記」というのがありまして、その冒頭に、国引き神話というのがあるのですが、能登半島、隠岐の島、それから朝鮮半島、こういったところから、昔の神様が土地を引っ張ってきてこの島根半島というのをつくったという神話があります。この神話と地形を売りにして、大勢の人に来ていただきたいと思っているところでございます。

全国的にも大変珍しい試みでございますが、私どもはこの5市が連携をし、力を合わせて、この圏域の発展に尽力をしていきたいと思っているところでございます。

皆様方、今回はもちろん、また、この圏域に機会をつくって来ていただいて、ゆっくりと堪能していただければ大変ありがたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。